



ひとの心と 重力がすじとになる。

■ 目 次 ■

- ごあいさつ
学校法人作陽学園 理事長・学長 松田英毅 2頁
- 大学生活の様子と学生支援について
学長補佐 松田光恵 3頁
- 2025年4月健康スポーツ教育学部がスタートします!
健康スポーツ教育学部
設置準備委員会委員長 杉山貴義 4頁
- 大学院・音楽学部の煌めく学生たち
大学院音楽研究科長／音楽学部長 竹内京子 5頁
- 食文化学部教育の継承とイノベーション
－ 食文化学部の近況報告 －
食文化学部長 木村吉伸 5頁
- 子ども教育学部 子ども教育学部長 福島治子 6頁
- 短期大学の魅力復活に向けて
作陽短期大学 音楽学科長 杉山貴義 6頁
- 作陽学園高等学校 校長 野村雅之 7頁
- 新しい価値創造する学校づくり
作陽学園高等学校 教頭 井上茂彦 8頁
- 遊びを充実させる『環境整備』の工夫
くらしき作陽大学附属認定こども園
園長 藤木潤子 9頁
- 新任教員のご紹介(大学・短期大学) 10頁
- 新任教員のご紹介(高校・認定こども園)
退職・退任された教職員のご紹介 11頁
- 鶴声会だより・翠会だより・作陽高校同窓会だより 12頁
- 2024年 度演奏会一覧 13頁
- 大学・短期大学の教育目的
設置校オープンキャンパス・音楽講習会等の情報 14頁
- 令和5年度決算について 15頁
- 創立90周年記念募金 募集要項 16頁

新施設完成予想図



Sakuyo Gakuen News
作陽学園報 Vol.77

ごあいさつ



理事長・学長
まつだ ひでき
松田 英毅

今年は例年になく猛暑が続いていますが皆様にはお変わりなくお元気のことと存じます。

令和6年度も夏休みを迎えたが、大学、短大、高等学校、こども園では、それぞれ子どもたちが元気に活動し、教職員がそれを応援しています。作陽学園のすべての学校の子どもたちは、素直で純粋な心を持ち、先生たちは、そんな子どもたちに真剣に向き合っています。これは、仏教を教育の中心とした作陽の伝統であり、特色であると思います。

仏教ではこの世の中のことを五濁悪世ということばで表わします。今、世界では悲惨な戦争が止むことがありません。わが国では、テレビでは楽しい番組があふれ、便利で快適な生活が営まれている一方、幼児虐待、殺人、詐欺、窃盗などの愚行があります。それも働き盛りの人によってなされている現実を見ますとき、現代は、まさに五濁悪世の感がします。本学では悪をなさず、立派な人になれと願い教えています。悪をなす人は、真実の世界の教えを受けていない人であろうと思います。真実を知れば、報恩感謝の思いが生じても、五戒（殺す勿れ、盜む勿れ、嘘つく勿れ、邪淫する勿れ、飲酒する勿れ）を犯す人にはならないと思います。

私たちは、自分がこの世に人として生まれたことを当然と思っています。おしゃかさまが、人が人間として生まれることは、奇蹟のような有り難いことだと言われたことは信じていませんでした。ところが、科学が進むにつれ、それは真実であることがわかりました。生命科学の最先端の学者が、人が生まれること、生きていることは、1億円の宝くじに百万回連続して当るに等しいほどのことであると言っています。私たちの身体は、

知れば知るほど不思議で、すごいはたらきが、いっぱいなされているのです。それは、私の生命の灯が母親の胎内にともったときから、いつときの休みもなく、はたらき続けているのです。それが生命の真実です。月の表面のピンポイントに人工衛星を着陸させるほどの科学技術をもってしても、人工的に生命をつくることはできない。母親の胎内でしかできないのです。しかも、両親から受けついだ生命の遺伝子は、そのもとをたどれば人類誕生の500万年前、さらに進化をさかのぼると生命発生の35億年前になります。私たちの生命は、35億年の間、しっかりと受けつがれた遺伝子をもつものであり、しかも、二つとして同じ遺伝子はない唯一無二の私なのです。それが真実です。そんな私たち人間なのに、有史以来、愚かな行いを続けています。殺人や戦争だけではありません。今、私たちが造り、享受している文明も、自然環境破壊や資源枯渇からわかるように人類が滅亡の方向に向く愚行といえます。それは欲望の追求が根底にあります。これを救うのは利他の精神であり行動です。それができるのは作陽で学んだ人たちです。

これからも、一層、建学の精神に基づく教育に力をいれ、人類を救うようなはたらきのできる若者を育てまいりたいと考えています。皆さまのさらなるご理解とご支援をお願いします。

「大学生活の様子と学生支援について」



学長補佐
まつだ みつえ
松田 光恵

平素より、作陽学園の教育活動・教育方針にご理解とご協力頂いておりますことに心より感謝申し上げます。私からは大学生活の様子と学生支援体制の2点についてご説明いたします。

まず1点目の学生の様子ですが、それぞれが目指す目標に向かって、演奏会活動、資格取得に向けた実習、ボランティア、インターンシップ等、学内外問わず活発に活動を行っております。正課外活動としては、現在学内には18の体育系・文科系のサークル及び同好会があります。サークルに所属している学生は、上級生から下級生まで仲間で集い、親睦を深めるなど、授業だけでは得られない力を身につけているところです。

また1年のうちで最も大きなイベントである大学祭では、昨年、模擬店が4年ぶりに復活しました。沢山の飲食店舗が立ち並び、とても賑やかな様子が見られました。学生らしい趣向を凝らす中で、ハロウィン仮装イベント、模擬店グランプリ、芸能人のトークショー、ダンスイベント、軽音学部の演奏等様々なイベントが催されました。また津山市より玉島の地に移転開学した、作陽学園高等学校からもイベントの参加があり、高・大一丸となり系列校ならではの取り組みを行いました。とても活気に満ちた2日間で、楽しい青春の思い出として、学生の記憶にも残る行事だったと思います。保護者の皆様も、この秋の大学祭にぜひご来場いただき、学生の様子をご覧ください。またこれらの様子はインスタグラム等SNSでも公開していますので、大学のアカウントをフォローしていただけますと幸いです。

この様に勉強に課外活動にと学生達は大変忙しいですが、これらの活動の中で大学時代だからこそ得られる、かけがえのない力を身につけ、4年間あるいは2年間で見違えるように成長している、と感じる次第です。

次に2点目の学生支援体制についてです。本学では、学生1人1人に担当アドバイザーがつき、勉強のこと生活のことなど相談できる仕組みを作っております。また心の悩み、体の悩み等専門的な相談は資格を持ったカウンセラー、あるいは保健室や専門教員が相談に乗る体制ができております。さらに、学生相談については学生支援室を設置し、より強化した体制を整え、進路のこと、生活のこと、奨学金のこと、さまざまな相談事に対応しています。そして、本年度から新たに学修相談ができる場を設けました。決められた時間に担当教員が在籍し、学生が気軽に勉強の相談ができる、そして学生の自立した学修を支援する、そのような場所です。学業の不安を取り払い、安心して大学生活を送ることができるよう、学生の学びを支援しています。このように様々な学生支援の仕組みを設け、教職員が一丸となって、取り組んでいるところでございます。

保護者の皆様におかれましては、何卒本学の教育方針にご理解いただき、ご協力賜われますと幸いです。



第27回翔陽祭

2025年4月健康スポーツ教育学部がスタートします！



くらしき作陽大学
健康スポーツ教育学部
設置準備委員会委員長
すきやま きよし
杉山 貴義

2025年4月、くらしき作陽大学は「健康スポーツ教育学部・健康スポーツ教育学科」を開設します。入学定員は1学年60名、学位は学士(健康スポーツ教育学)が授与されます。

新学部で取得できる資格は、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)、小学校教諭一種免許状、健康運動実践指導者、日本スポーツ協会公認資格です。同じ学科のカリキュラムで小学校教員と中学校・高校教員の免許状が同時に取得できるというのが新学部の特長となっています。

新学部のキーワードは二つあります。「スポーツ教育」と「健康スポーツ」です。

「スポーツ教育」は、主に中・高の保健体育教員または小学校教員、教育関連企業等を将来の職業として考えている学生を、「健康スポーツ」は、公務員(消防署員、警察官等)、スポーツ関連企業、フィットネスクラブ等のインストラクターやトレーナーを目指す学生を対象と考えています。もちろん将来ビジョンに関係なく、「スポーツが好き! そして教育や健康に興味がある」という人なら、スポーツと健康と教育について学ぶことが出来る学部となっています。

強化指定運動部のひとつとして、フットサル部を創設！

A woman in a blue and white striped soccer jersey, number 10, is running on a soccer field. She has a determined expression and is looking towards the camera. The background shows a purple sky and some trees.

女子サッカーチーム、本格始動！



健康スポーツ教育学部新設

健康スポーツ教育学部開設に伴い、現在、新体育館を建設中です。新体育館のトレーニングルームには最新のトレーニングマシンを導入予定で、スポーツという名に相応しい環境を整えていきます。

さらに強化指定運動部として、フットサル部(監督にFリーグ得点王に輝いた、元日本代表、渡邊知晃氏が就任)、バドミントン部、女子サッカー部、女子バレーボール部(Vリーグ所属倉敷アプレイズと提携。プロのリーグで学生選手やスタッフとしての活躍が可能)を起ち上げます。

健康スポーツ教育学部が求める人材像は決して競技成績の高い人を求めていた訳ではありませんが、将来プロや競技者として活躍してみたいという人にはもちろん門戸を開いています。先生やスポーツ指導者になるもよし、アスリートを目指すもよし、あらゆる形でスポーツに取り組む学生をバックアップしていきます。

作陽学園関係者の皆様、同窓生の皆様、健康スポーツ教育学部にどうぞご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新施設完成予想図



Vリーグ所属・倉敷アプレイスと連携協定を締結。
学生Vリーガーとして、プロリーグの運営スタッフとして、アプレイス主催の
社会貢献活動であるジュニアバレーボール教室等の指導者としての活躍が可能に！

大学院・音楽学部の煌めく学生たち



大学院音楽研究科長
音楽学部長
たけうち きょうこ
竹内 京子

いつもお世話になりますありがとうございます。

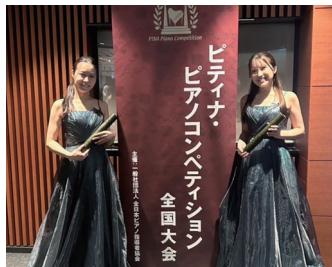
大学院にモスクワ音楽院特別演奏コースが設けられて3年目にあたる今年は音楽学部の同コースから3名が進学し『大学院サマーコンサート』での熱演をはじめ、大活躍しています。

大学院・音楽学部の新企画としては『作陽カフェテリアコンサート』をご紹介いたします。地域貢献科目である『音楽貢献実践A』の履修生が平成27年より玉島市民交流センターロビーで毎年数回の『ヤングコンサート』を地域の音楽愛好家の皆さんにお贈りして大変好評をいただいていることから、この度、同じキャンパスに集う仲間の多忙な学生生活に対して、彩りと潤いを添えるようなコンサートを提供したいという想いがふくらみ、実現に至りました。6月に演奏を披露したピアノデュオApiaとして学内外で活躍する音楽学部3年生笠原璃音さんと松尾愛可さんは国内最大規模のコンクー

ルにおいて地区本選を1位で通過し、全国大会で連弾上級ベスト8賞に入賞しました。後期は、授業開始日の9月20日金曜日12:45から始動し12月まで月に1回ペースで心安らぐミニコンサートを提供いたしますので是非お出かけください。

また、教員採用試験を受験中の学生たちは合格必勝を目指して、2次試験対策講座で汗を流し吉報を待っているところです。中学高校の音楽の先生に憧れて本学に入学する学生も多く、ご自身も恩師の後を追いかけて「私も生徒の心を動かす先生のような教師になりたい」との情熱が驚くようなパワーを湧き上がらせます。ご存知のように今年から3年生の受験が可能になりました。数名が早くも来年度採用試験の1次免除を手にして意気込みを見せていてこと、2年生が真剣に対策講座を聴講していることを大変心強く感じ、さらなるサポートに努めます。

これからも、くらしき作陽大学大学院と音楽学部の煌めく学生たちを応援していただきますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



食文化学部教育の継承とイノベーション - 食文化学部の近況報告 -



食文化学部長
さむら よしのぶ
木村 吉伸

これまで食文化学部は、管理栄養士養成課程の「栄養学科」と食ビジネスを俯瞰できる人材を養成する「現代食文化学科」の2学科で、「食と健康」の視点から社会貢献できる人材の育成を学部一丸となって取り組んでまいりました。

栄養学科では、管理栄養士養成課程としての使命を果たすために、国家試験対策指導を各年度の出題を綿密に分析した上で柔軟に対応しています。その結果、昨年度実施の国家試験では合格率を93.3%にアップさせ、岡山県下では2位、中四国でもトップクラスの合格実績となりました。学部教員による質の高い管理栄養士養成教育が継承されている証だと思われます。

一方、現代食文化学科は、来年度から「食マネジメント学科」に衣替えを致します。教育カリキュラムそのものには変

革はありませんが、栄養士養成を基本としつつ、商品開発に関わる人材育成、家庭科教員養成、フードコーディネータの育成を柱とした教育に舵をきることになります。本学科は100%の就職率を維持しており、家庭科教員についても3名が採用試験に合格するなど教員養成教育の質の高さを誇っています。

更に、学部として産学連携や地域連携による社会実装に向けた取組も積極的に推進しており、今夏は「さくようヘルスケアレストラン」の一般公開を音楽学部とのコラボで5年振りに再開し、地元玉島を始め倉敷や岡山から多くの皆さんのが参加して下さいました。

引き続き食文化学部へのご支援の程、何卒、宜しくお願い申し上げます。



子ども教育学部長

ふくしま はるこ
福島 治子

「子ども教育学部」は、今年度から「保育園・幼稚園コース」、「小学校・特別支援学校コース」というコース制を廃止し、「子ども教育学部 子ども教育学科」という一括りで、入学をし、入学後に、「保育園・幼稚園モデル」、「保育園・幼稚園・特別支援学校モデル」、「小学校(+幼稚園)モデル」、「小学校・特別支援学校モデル」のような希望する資格や免許状に合わせた授業を選択し、時間割を組むように変わりました。

従来から、本学部では、保育士資格、幼稚園一種免許状、小学校一種免許状、特別支援学校一種免許状など、多様な免許・資格を取得できることが特色の一つでしたが、より自分に合った、自分が希望する進路選択をしやすい形に

なりました。

また、授業を通して知識や技能を身に付けるとともに、実践力を付けることを大切にしており、3つの正課外活動「ぱれっと」、「ぶらっつ」、「特別支援教育ラボ」、大学附属認定こども園をはじめとした保育所や幼稚園、こども園でのボランティア活動や近隣の小学校や放課後児童クラブでのボランティア活動も活発に行われています。

子ども教育学部のオリジナルホームページedu.ksu.ac.jpにアクセスしていただければ、最新の学部の様子をご覧いただけます。

どうか同窓生の皆様、今後ともご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

短期大学の魅力復活に向けて

作陽短期大学
音楽学科長すぎやま きよし
杉山 貴義

2024年度作陽短期大学は、音楽専攻12名、幼児教育専攻21名、計33名の新入生が入学しました。昨年度より新入生の数が20名も減ってしまったという事態に学科長として大きな責任を感じております。ご存知かもしれません、昨今の短期大学を取り巻く状況は本学のみならず全国的な傾向として大変厳しいものとなっています。岡山県内の短大でも、美作大学短期大学部、就実短期大学が2024年度をもって学生募集を停止し、2026年3月には廃止が決定されています。

このような状況の中、本学では「作陽短期大学魅力復活プロジェクト」を立ち上げました。具体的には幼児教育専攻において、長期履修制度を活用した3年制コースの導入、作陽保育音楽検定制度の導入、学外研修旅行の計画・実施、各教員の専門性を生かした授業「ゼミナール」の新たな開講、

保育士・幼稚園教諭以外に取得できる資格(社会福祉主任用資格、認定ベビーシッター)を増やすなどの方策を打ち出しました。

既に2024年度から作陽保育音楽検定制度と学外研修旅行は実施する予定で、3年制コースの導入、「ゼミナール」の新たな開講、社会福祉主任用資格、認定ベビーシッター資格の取得については、2025年度入学生から適用されます。

これらの新しい試みを軌道に乗せて、少しでも作陽短大的魅力をアピールし、ステークホルダーの信頼を得て、高校生に選ばれる短大に成長したいと考えております。

作陽学園関係者の皆様、同窓生の皆様、今後ともどうぞよろしくご支援とご協力を願い申し上げます。



作陽学園高等学校
のむら まさゆき
校長 野村 雅之

津山市から倉敷市玉島に移転し作陽学園高等学校と名を変え新しくスタートして2年目となりました。昨年度は移転・引っ越し作業からスタートし、環境整備や制度の形づくりに注力が必要でした。親元を離れて学校に通う生徒のための学校指定宿舎とその生徒たちが3食を食べる学食との連携や放課後補講を受け持つ塾との連携、ICT教育及びそれを活用した学校運営システムの確立等、移転を機に多くのシステム作りを行いました。それと同時に地域に開かれた新しい学校であると認知してもらうために地域行事への参加を積極的に行いました。玉島地区の中央にある溜川公園の清掃ボランティアに運動部を中心に多くの生徒が参加しました。8月にある玉島まつりでは生徒会が「映えスポット」を作製し、ハーバーダンス大会に創設1年目のダンス部が出場し会場を盛り上げました。また学校周辺地区の運動会の綱引きに柔道部員が参加し拍手喝采を浴びました。1月には玉島ロードマラソンに男女サッカー部の多数の部員が出場しましたが、それだけではなく硬式野球部の大会ボランティア、さらに吹奏楽部の開会セレモニー演奏とともに応援に駆けつけた多くの生徒の大歓声に出場者から励みになったと喜びの声を多数いただきました。

今年度は昨年度の経験を元に学校運営面の改善を行っています。進学実績の向上を狙い、Proudコースの学習指導体制を見直しました。塾との連携も修正、強化し、県内私学のトップクラスの結果を出す基盤を確立しつつあります。Proudコース2年生はくらしき作陽大学と連携し、大学の先生方からも直接指導をいただきながら探究活

動に取り組んでいます。

生徒募集戦略も見直しています。昨年の生徒募集活動上の印象では、作陽学園高校が倉敷に移ったということは十分認知されていたと感じましたが、まだ身近な学校として捉えられていないという部分は否めませんでした。今年度は募集案内等の配布方法を変え、それらを目に見る機会増を狙っています。またオープンスクールだけではなく様々な機会を通じて作陽学園高校に足を運んでもらうという方向性も打ち出しています。加えて本校生徒と小学生が交流するスポーツ教室の実施なども行い、地域の人が本校をコミュニティの場として捉えてもらうような取り組みも始めています。

作陽学園高等学校は豊かな人間性の涵養、利他の心の育成を目的とした教育をおこなってまいりました。世のため人のために社会貢献できる人材の輩出が、場所が変わり、施設が新しくなるとも作陽学園高等学校の普遍的な使命です。文武両道を地でいく学校、人を育てる学校として作陽学園高等学校をさらに広く認められるよう今後も攻めの姿勢で学校運営をしていきます。「変わること、変えることを恐れず前進していく」これは私が常に学校内で口にしている言葉です。進化し続ける作陽学園高等学校を今後もご指導、ご支援いただきますようよろしくお願ひいたします。

新しい価値創造する学校づくり



作陽学園高等学校
いのうえ しげひこ
教頭 井上 茂彦

昨年度から現在までの生徒たちの活躍について報告します。学習、部活動、課外活動という点に絞ってお伝えします。学習面ですが、2023年度の進学実績です。国公立大学は4名合格、同志社大学をはじめとする有名私立大学へ6名の合格、くらしき作陽大学に1名合格することができました。結果として進学が91%、就職が9%となっております。Proudコースでも1年生と2年生が協力して中学生に対して授業するなど新しい取り組みも出てきました。

部活動面では、インターハイ全国大会に出場した部活は、男子サッカー(全国ベスト16)、男女ゴルフ部(団体)、柔道(団体20年連続、個人全階級)です。ダンス部とフットサル部も設立して間もないにも関わらず、全国大会に出場することができました。課外活動では、生徒会やダンス部、軽音楽部などが商工会議所や地域の団体などのイベントに参加し、積極的な地域貢献を実施しています。今年も生徒たちの活躍に期待が高まります。

また、2025年度作陽学園高校のこだわりの取り組みは、次の7つです。

- ①生徒会・部活動による地域連携
- ②外部講師と学習面での連携
- ③生徒にニーズに応える生徒会・部活動・カリキュラム
- ④オリジナル教材やICT教材の活用
- ⑤海外派遣制度の充実
- ⑥企業との連携
- ⑦専門機関(大学)との連携

最後に、生徒募集についてお伝えします。私立高校の取り巻く環境は、年々厳しくなっております。岡山県内の私立高校は24校ありますが、定員を満たしているのは8校、前年度(2023年度)よりも入学者数が増加したのは11校です。



研修の様子

私学の受験者数は増えているという報道もありますが、実際は県内の私学受験者数は年々減少しております。前年度から約500名の減少という状況です。受験生(中学3年生)の数も、倉敷市、総社市など前年度比で減少し、全体で約70名の減少となっております。2050年の日本の予想される総人口9500万人に向けて、子どもの数の減少は留まることを知りません。このような状況の中で、より効率的な募集活動を実施していくことが急務であると考えており、以下のようなアクションをとっていきたいと思います。

- (1)過去3年間の受験生のデータ分析によるターゲット策定
- (2)ターゲットに従い、多様なイベントを含む募集活動を開催
- (3)WEBを駆使したアプローチや積極的な訪問により中学校と中学生保護者へ間接訴求
- (4)個別相談時における対応の深掘り化
(個別最適化進路指導)をし、中学生・保護者への直接訴求
- (5)出張前講座、地域協働イベント参加など
地域への貢献活動を活発化

以上のこと踏まえ、学校のスクールアイデンティティ(学校の価値を上げるための独自性)を再構築していきます。その基本構想は、生徒指導・部活動指導・進路指導と学習指導を全て一体化する必要があると考えます。地域からもっと選ばれる学校を目指して、より深掘りした教育を実践をしていきたいと思います。今後とも作陽学園高等学校をよろしくお願いいたします。



食堂の風景



部活動の様子



模試の風景



◀作陽ブログ
新着情報はこちら

遊びを充実させる『環境構成』の工夫



くらしき作陽大学附属認定こども園
園長
ふじき じゅんこ
藤木 潤子

幼児教育は、「『環境』を通して行う教育」と言われているように、わたしたちは子ども一人ひとりを丁寧に見取りながら、「子どもだけでやれること」「子どもだけではできないこと」を見極め、「子どもだけではできないこと」があれば、その子に必要な「環境」を整えることを常に心掛けています。

特に幼児教育での「遊び」は小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながる重要な役割を担うことになります。

子どもは「遊び」を通して、好奇心・探求心・集中力・工夫する力・創造力・想像力・自己肯定感・最後までやりとげる力・コミュニケーション能力などの非認知能力を獲得していきます。そして、この非認知能力は豊かな人生を送るために必要な「生きる力」の土台になります。

そこで、本園では大切な学びである「遊び」をより充実させるためには「環境」を工夫することが不可欠であると考え、次の点に留意しながら環境構成を工夫しています。

- 安心感・安定感が得られる環境
 - 興味や関心を持ち思わず関わりたくなる環境
 - 試行錯誤を繰り返すことのできる環境
- ※環境構成は子どもからの働きかけや周囲の状況に合わせて柔軟に変化させる

また、環境構成を行う際には次の8点を環境の要素として捉えています。

- ・人 ……表情、動き方、話し方など※保育者が1番の環境
- ・自然……自然に多く触れることができる環境

- ・物 ……準備された遊びの素材の質や量・置き場
- ・情報……視覚刺激への配慮(色・形・動き・音など)
- ・空間……遊び・睡眠・食事の空間のゆるやかな区別
- ・時間……ゆとりある時間の環境(流れのよい日課)
- ・動線……生活しやすい物の配置・空間の構成
- ・気温、空気の質……換気に気を配り空気の質を保つ

■遊びが豊かになる『環境構成』の工夫例

【シャボン玉遊び】もっと大きなシャボン玉を作りたい!

- ・大きなシャボン玉ができるシャボン玉液を作る。
- ・シャボン玉ロープを加える。

【昆虫採集】自分で虫を捕まえて名前や飼い方を調べたい!

- ・いつでも使える虫捕り網と虫かごを準備しておく。
- ・昆虫採集の方法や虫飼い方に詳しい昆虫博士を招く。

(倉敷市自然史博物館の協力)

【どろんこ遊び】濡れたっていい!汚れたってへっちゃら!

- ・スプリンクラーで園庭に泥遊びができる環境を作る。
- ・砂場にも水を入れてどろんこ遊びができる環境を作る。

【うろこを使って「こいのぼり作り】】

- ・直線を3本引き、色付けをして作った大きいこいのぼりの「うろこ」を使って作品を作る。

【保育室の環境】安全で使いやすい空間づくり

- ・パーテーションの置き方を工夫する。
- ・子どもの動線を考えて机、棚、おもちゃなどを配置する。



新任教員のご紹介(大学・短期大学)



食文化学部 助教

仙田 あゆ美

食品学を担当いたします。食品が人の身体にもたらす影響について、栄養成分や嗜好成分、またその化学的性質や体の中での作用についてなど、基礎的な知識を十分に身に着けた管理栄養士の養成に尽力いたします。よろしくお願ひいたします。



子ども教育学部 専任教授

藤井 朗

小学校算数、生活科や進路指導論等を担当します。学校現場で学んだ経験を活かし、教職をめざす学生の皆さんのが楽しく学び、より実践的な力が身につくように取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



子ども教育学部 専任教授

松崎 保弘

特別支援教育、知的障害児の教育などを担当します。特別なニーズのある子ども達の教育は、考え方、制度、方法等々が刻々と変わっていますが、基礎となる部分を大切に学生諸君に伝えていきたいと思っています。



子ども教育学部 専任教授

中根 征也

特別支援教育を担当します。特別支援教育と医療のつながりの重要性を学生の皆さんと一緒に考え、将来出会う児童生徒の持っている力を存分に発揮させる指導・支援について実践的な視点から考えていきたいと思います。



子ども教育学部 専任助教

贊田 征子

乳幼児の保育や実習等を担当します。幼児教育現場で培った経験を活かし学生の皆さんと一緒に子どもの育ちに心を向けながら、子どもや保育の本質について理解を深めていきます。



子ども教育学部 専任助教

岡田 恵太

幼児教育課程論や子育て支援などを担当します。様々な幼児教育現場での経験を活かしながら、学生の皆さんと一緒に「保育・幼児教育」について考え、実践につながる授業を共に創っていきたいと思います。



短期大学 専任教授

山崎 順子

保育内容(人間関係)や教育・保育実習等を担当します。幼児教育の現場で得た経験を活かし、信頼関係をはぐくむ保育の大切さや、子どもと共に過ごすことの楽しさを、学生の皆さんに伝えていきたいと思います。



新任の先生のご紹介(高校)



特任教諭 教頭
井上 茂彦

本年度より作陽学園高校に教頭として入職いたしました、井上茂彦です。前任校からの経験を活かしながら、地域からさらには選ばれる学校作りを進めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



常勤講師
福田 晴菜

本年度より国語を担当いたします。古典を通じて学力を向上させると共に、日々変化する進路情報を得ることで、生徒一人一人の目標実現のためにサポートできるよう務めています。どうぞよろしくお願いいたします。



常勤講師
古市 展久

本年度より作陽学園高等学校で英語を担当させていただきます。将来世界を舞台に活躍できる人材の育成と第一志望校合格に向けて指導してまいります。生徒の夢を実現するため、企業や海外で培った経験を生かして指導に取り組みます。



常勤講師
中村 洋一

本年度より作陽学園高校にて国語を担当させていただきます。全力で駆け抜けていく生徒たちを精いっぱい支援し、さらなる目標を掲げられる生徒の育成に役立てるよう精進してまいります。生徒たちがより充実した人生となるよう、このご縁を大切にしていきたいと思います。



常勤講師
中野 咲

本年度より保健体育科を担当させていただきます。この度ご縁があり、吉備国際大学からまいりました。16年間続けてきたサッカーの経験も活かし、生徒と共に学び続けながら、成長していくことを考えています。宜しくお願い致します。

新任職員(大学)

西田 志保
三宅 咲紀
佐藤 快音
杉 あゆみ(実習助手)
近藤 亜弥(実習助手)
上石 渚(実習助手)

新任教員のご紹介(認定こども園)



保育教諭
宗森 幸子

この度、認定こども園に勤めさせていただくことになりました。元気でかわいい子ども達にパワーをもらひながら明るく楽しく過ごしたいと思います。よろしくお願いします。



大変お世話になりました。

退職・退任された教職員のご紹介(大学・短期大学・高校・認定こども園)

大学	音楽学部	森 博文
	食文化学部	外城 寿哉
	子ども教育学部	土岐 泰通
		長濱 美根子
		岡村 玲子
		吉田 裕彦
		瀬戸山 悠
		林 幹士

短期大学 児玉真寿美

高校	松本 賢治(英語)
	塩見 尚史(数学)
	潤間 啓一(地歴・公民)
	高楓 美保(国語)
認定こども園	カブラ フルヴィオ(英語)

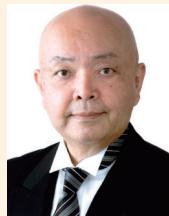
事務職員 平松 智子

中桐 千鶴

平田 麻住

事務職員	秋本 理恵
	小野 本治
	加藤 晶正
	古南 泰信
	小山 陽介
	横溝 美樹
	應地 芽生
	齋藤 亞利沙
	西村 恵朗
	渡邊 誠夫

くらしき作陽大学 同窓会 鶴声会だより



同窓会鶴声会会員の皆様、くらしき作陽大学関係者の皆様には、日頃より鶴声会の活動に際しまして、ご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本年は2年に1回行われます『くらしき作陽大学同窓会「鶴声会」総会』の年に当ります。今年は11月2日(土)に倉敷市玉島にあります「セントイン倉敷」で開催する様に準備を進めているところでございます。前回の「鶴声会」総会は「くらしき作陽大学の原点」でもあり、本学の礎となった地でもある、津山市において盛大に開催することができました。また、総会に先立ち、作陽音楽大学のキャンパス見学を行い、作陽音楽大学を卒業された方々からは、学生時代を思い出し懐かしくキャンパスの散策をしていただきました。

今回は現在ある倉敷キャンパスを見学させていただけるよう準備を致しました。総会後はレセプションも予定しており、



鶴声会会长 木村 一也

各学科の先生方や、くらしき作陽大学で教鞭をとられていた先生方にもご参加いただく予定にしています。ぜひたくさんの方にご参加いただきたいと思っております。

さて、新型コロナ感染症も一応の落ち着きを見せ、様々な活動が再開され、3月の卒業式、4月の入学式に参加をさせて頂きました。卒業式では卒業される皆さんが決意を胸に巢立ていかかる姿に接し、頼もしさを感じ、元気もいただいたように感じました。また、入学式では初々しい表情の新入生の皆さんに、「新しい出会いを大切にし、目的をもって学生生活をエンジョイができます様に」と心の中でエールを送らせていただきました。

また、各支部では様々な活動がなされるようになり、可能な限りそれらに参加をさせていただき、それぞれの支部が特色ある活動を支援させていただければと思っております。

結びに、学園のさらなる発展と皆様の今後ますますのご健勝を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



作陽短期大学・作陽音楽短期大学 同窓会 翠会だより

翠会会长 元吉 恵子

2023年度 翠会総会並びに懇親会開催

翠会会員の皆様方におかれましては、日頃より同窓会活動にご協力いただきありがとうございます。

新型コロナウィルス感染症拡大により、一年延期となつておりました作陽短期大学・作陽音楽短期大学同窓会(翠会)総会並びに懇親会を、昨年11月5日(日)に「ピュアリティまきび」にて開催いたしました。延期したこともあり、参加者にも影響があるのではないかという懸念もありましたが、当日は多くの卒業生・恩師の先生方にご参加いただき、盛会のうちに終了することができました。懇親会では卒業生一人ひとりの近況などを伺いながら、思い出話に花が咲き



作陽学園高校同窓会だより

作陽学園高校同窓会 会長 奥村 哲美(1986年3月卒業)

作陽学園高校同窓会の皆様お変わりございませんか?平素は作陽学園高校同窓会活動に対しましてご理解並びにご支援を賜り厚くお礼申し上げます。倉敷市へ移転して2年目を迎えて、教職員の方々や生徒の皆さんも新たな環境に馴染み、勉強や部活動に活躍をされておられること同窓会として喜んでおります。また同窓生の中にはスポーツや芸能などで活躍される方々、また地域社会で様々な取り組みをして社会貢献されている同窓生も多くいらっしゃいます。作陽学園高校の同窓生として誇らしく思っております。これからも作陽学園同窓会として生徒の皆様や同窓生の方々の応援をさせて

いただきます。

作陽学園高校同窓会についてですが、昨年度は新校舎にお邪魔をして開催させていただきました。しかし今後しばらくの間は津山市内の会場で開催を考えております。なるべく多くの皆様に開催予定を早めにお知らせできるように同窓生同士の横の連絡を取りたいと考えております。また各地の同窓会支部の活動も広げていけたらと考えております。多くの作陽学園高校同窓生が集える場所・機会となるべく企画をして参りますので今後ともよろしくお願ひいたします。



くらしき作陽大学・作陽短期大学 2024年度 演奏会のお知らせ

9月

17日(火) ピアノ指導ブラッシュアップ講座（1日目）

- ピアノ演奏およびピアノ指導に役立つ講座
- 開演：10時00分 ■入場料：有料

18日(水) ピアノ指導ブラッシュアップ講座（2日目）

- ピアノ演奏およびピアノ指導に役立つ講座
- 開演：10時00分 ■入場料：有料

10月

8日(火) 本村孝二門下生によるトランペットとオルガンのコンサート

- 本村孝二門下生による演奏会
- 開演：18時45分 ■入場料：無料

14日(月) コントラバスアンサンブル演奏会「コントラバスターーズ」

- コントラバス専攻生による演奏会
- 開演：18時45分 ■入場料：無料

23日(水) モスクワ音楽院特別演奏コース学内公開演奏会 後期Ⅰ

- モスクワ音楽院特別演奏コース在学生による演奏会
- 開演：18時30分 ■入場料：無料

25日(金) 作陽短期大学演奏会

- 作陽短期大学在学生によるアンサンブル、吹奏楽等の演奏会
- 開演：19時00分 ■入場料：有料

28日(月) Vocal Concert 2024

- 声楽専修生による演奏会
- 開演：18時30分 ■入場料：無料

11月

4日(月) Le Jardin du Son～音の庭～

- 土居里江准教授(ピアノ)門下生による演奏会
- 開演：14時00分 ■入場料：無料

5日(火) 2024年度特待生コンサートvol.1

- 2024年度特待生による演奏会
- 開演：18時45分 ■入場料：無料

9日(土) EARNEST CONCERT

- 竹内京子教授(ピアノ)門下生による演奏会
- 開演：13時30分 ■入場料：無料

10日(日) 作陽管弦楽団プレミアムコンサート

- 管弦楽授業の研究発表
- 開演：14時30分 ■入場料：有料

12日(火) 2024年度特待生コンサートvol.2

- 2024年度特待生による演奏会
- 開演：18時45分 ■入場料：無料

19日(火) 2024年度コンクール入賞者コンサート

- 2024年度コンクール入賞者による演奏会
- 開演：18時45分 ■入場料：無料

22日(水) モスクワ音楽院特別演奏コース学内公開演奏会 後期Ⅱ

- モスクワ音楽院特別演奏コース在学生による演奏会
- 開演：18時30分 ■入場料：無料

12月

1日(日) 作陽JWAこども吹奏楽団 第13回定期演奏会

- 作陽JWAこども吹奏楽団(年長～小学生・中学生が中心メンバー)による演奏会
- 開演：14時00分 ■入場料：有料

7日(土) オペラ演習研究発表会

- オペラ演習授業履修生による研究発表会
- 開演：15時30分 ■入場料：無料

8日(日) さくよう吹奏楽の日

- 吹奏楽授業履修生による吹奏楽研究発表会
- 開演：14時00分 ■入場料：有料

17日(火) 作品発表のタペ

- 作曲専修生および教員による作品発表会
- 開演：18時30分 ■入場料：無料

18日(水) モスクワ音楽院特別演奏コース学内公開演奏会 後期Ⅲ

- モスクワ音楽院特別演奏コース在学生による演奏会
- 開演：18時30分 ■入場料：無料

19日(木) 教育指導吹奏楽、Drum & Brass Corps "MUSICA"研究発表会

- 教育指導吹奏楽専修による吹奏楽研究発表会およびマーチングバンド Drum&Brass Corps "MUSICA"による研究発表会
- 開演：19時00分 ■入場料：無料

20日(金) 2024作陽ファカルティコンサート 長瀬敏和サクソフォンリサイタル

- 長瀬敏和教授によるサクソフォンリサイタル
- 開演：19時00分 ■入場料：有料

12月

21日(土) 第37回日本伝統芸能・邦楽演奏会 さくよう歌舞座

- 邦楽専修生による箏・三弦・尺八の演奏会
- 開演：14時30分 ■入場料：有料

25日(水) 作陽トランペットアンサンブル

- トランペット専攻生による演奏会
- 開演：17時00分 ■入場料：無料

2025

1月

7日(火) 室内楽(サクソフォン)研究発表会

- 室内楽(サクソフォン)の授業履修生による研究発表会
- 開演：19時00分 ■入場料：無料

10日(金) 第19回音楽デザイン専修作品発表会「ミライヘノトビラ」

- 音楽デザイン専修生によるオリジナルミュージックビデオ作品発表会
- 開演：18時30分 ■入場料：無料

10日(金) 室内楽(木管)授業研究発表会

- 室内楽(木管)履修生による研究発表会
- 開演：19時00分 ■入場料：有料

14日(火) 歌曲演習研究発表会「歌曲のタペ」

- 歌曲演習の授業の研究発表会
- 開演：18時30分 ■入場料：無料

15日(水) 伴奏演習コンサートII

- 伴奏演習授業の成果発表会
- 開演：18時30分 ■入場料：無料

16日(木) 合唱研究発表会「Chorus Concert」

- 合唱の授業の研究発表会
- 開演：18時45分 ■入場料：無料

20日(月) 室内楽(Pf)研究発表会「Piano Duo Winter Concert」

- 室内楽(ピアノ)履修生による連弾・2台ピアノの研究発表会
- 開演：18時45分 ■入場料：無料

22日(水) 室内楽(金管)授業研究発表会

- 室内楽(金管)履修生による研究発表会
- 開演：19時00分 ■入場料：有料

30日(水) 大学院ハーフリサイタル

- 大学院生によるハーフリサイタル
- 開演：未定 ■入場料：無料

2月

9日(日) 作陽吹奏楽団特別演奏会

- 学内オーディションで選ばれたメンバーによる吹奏楽の演奏会
- 開演：14時00分 ■入場料：有料

11日(日) 第52回作陽パーカッショングループコンサート

- 室内楽(打楽器)専修生による打楽器アンサンブル曲の研究発表会
- 開演：14時30分 ■入場料：無料

12日(金) 大学院合奏演奏会

- 大学院(合奏授業)の演奏会
- 開演：18時30分 ■入場料：無料

15日(日) 作陽弦楽合奏団ニューイヤーコンサート2025

- 弦楽合奏授業の研究発表会
- 開演：14時00分 ■入場料：有料

21日(金) 大学院修了演奏会

- 大学院生による修了演奏会
- 開演：未定 ■入場料：無料

23日(日) 第39回作陽サクソフォンオーケストラ演奏会

- 合奏(サクソフォン)授業の研究発表会
- 開演：14時30分 ■入場料：無料

28日(金) 金管合奏研究発表会

- 金管合奏授業履修生による研究発表会
- 開演：18時30分 ■入場料：無料

3月

18日(火) 2024年度卒業・修了演奏会

- 2024年度に卒業・修了する優秀者による演奏会
- 開演：13時00分 ■入場料：無料

19日(水) 2024年度卒業・修了演奏会

- 2024年度に卒業・修了する優秀者による演奏会
- 開演：13時00分 ■入場料：無料

※このお知らせは、2024年6月21日時点の情報です。

都合により、日程・時間等が変更になる場合がございます。
会場等の詳細な内容につきましては、大学ホームページで
お知らせいたしますので随時ご確認ください。

[大学HP] <https://www.ksu.ac.jp/>

大学HPの
二次元コード
はコチラ



くらしき作陽大学・作陽短期大学の教育目的

■くらしき作陽大学の目的

本学は、大乗仏教に基づく宗教的情操教育により豊かな人間性を涵養するという建学の精神に則り、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究して、心豊かに生きいきと生きる職業人を育成し、学術の中心として社会の発展に寄与することを目的とする。

音楽学部の目的

・音楽学部の教育研究上の目的

建学の精神に基づく人間教育のもとに、音楽に関する質の高い専門性を身につけた心豊かに生きいきと生きる職業人を養成するとともに、国際的な音楽文化の教育研究拠点として地域に貢献することを目的とする。

・音楽学科の教育研究上の目的

国際的な音楽文化の教育研究を通して、音楽に関する豊かな感性と高度な技術とともに、社会性ある音楽家を養成する。

食文化学部の目的

・食文化学部の教育研究上の目的

建学の精神に基づく人間教育のもとに、食に関する質の高い専門性を身につけた心豊かに生きいきと生きる職業人を養成するとともに、食文化の教育研究拠点として地域に貢献することを目的とする。

・現代食文化学科の教育研究上の目的

食に関する教育研究を通して、食を総合的に学修した食文化に強い心豊かな栄養士ならびに教員等を養成する。

・栄養学科の教育研究上の目的

食と健康に関する教育研究を通して、健全な未来社会を築くために貢献できる心豊かな管理栄養士を養成する。

子ども教育学部の目的

・子ども教育学部の教育研究上の目的

建学の精神に基づく人間教育のもとに、保育と教育及び子育て支援に関する質の高い専門性を身につけた心豊かに生きいきと生きる職業人を養成するとともに、保育と教育及び子育て支援の教育研究拠点として地域に貢献することを目的とする。

・子ども教育学科の教育研究上の目的

保育と教育、子育て支援に関する教育研究を通して、現代の保育・教育現場に求められる高度な専門性と実践力を持った、心豊かな保育・教育等に従事する人材を養成する。

大学院音楽研究科の目的

広い視野に立って音楽に関する清深な学識を授け、地域の音楽文化の向上に貢献することのできる高度な専門性を有する人材を養成することを目的とする。

■作陽短期大学の目的

本学は、大乗仏教に基づく宗教的情操教育により豊かな人間性を涵養するという建学の精神に則り、深く専門の学芸を教授研究して、心豊かに生きいきと生きる職業人を育成し、学術の中心として社会の発展に寄与することを目的とする。

・音楽学科の目的

建学の精神に基づく人間教育のもと、音楽に関する豊かな感性と専門性をもって地域の文化や教育の向上のために心豊かに生きいきと生きる職業人を養成する。

・音楽専攻の目的

音楽文化の教育研究を通して、音楽に関する豊かな感性と高い専門性をもつ心豊かな人材を養成する。

・幼児教育専攻の目的

幼児教育と音楽文化の教育研究を通して、音楽に関する豊かな感性と専門性をもつ心豊かな保育・幼児教育に従事する人材を養成する。

イベント情報

くらしき作陽大学・作陽短期大学

作陽音楽講習会		
5/19(日)	9/14(土)	12/15(日)
6/16(日)	10/12(土)	2/16(日)
7/13(土)	11/17(日)	3/16(日)

オープンセミナー	
5/12(日)	10/12(土)
6/ 8(土)	11/ 9(土)
7/13(土)	2/ 9(日)

オープンキャンパス	
6/23(日)	8/24(土)
7/20(土)	9/15(日)
7/21(日)	3/15(土)

作陽探究ワークショップ	
8/6(火)	8/8(木)
8/7(水)	8/9(金)

作陽学園高等学校

オープンスクール	
6/29(土)	
8/25(日)	
10/19(土)	

少人数制プレミアム オープンスクール	
6/ 1(土)	
7/27(土)	
9/14(土)	

個別相談会	
11/5(火)～11/22(金)	
平日	

高校入試 チャレンジ模試	
11/3(日)・祝	



令和5年度決算について

令和5年度決算の概要は以下のとおりです。
この決算は、5月28日に行われた理事会・評議員会の承認を受けたものです。

資金収支計算書

当該会計年度に行った諸活動に対応する全ての資金の動きを記録することによって当該年度の収入と支出の内容を明らかにし支払資金の顛末を表すものです。

資産売却収入は、固定資産等の売却による収入をいい、不動産、有価証券などの売却による収入が代表的なものとしてあげられます。

前受金収入は、翌年度以降の諸活動に対応する資金を受け入れた場合に生ずる科目で、一般的には翌年度入学生にかかる学生生徒等納付金収入などが代表的なものです。

資金収入調整勘定は、期末における未収入金の計上、また前年度で前受金とした当該年度に属する学費収入等を学生生徒等納付金収入として計算するための減算科目です。

教育研究経費支出とは、教育研究に直接要する経費のことといい、光熱水費をはじめ研究費、奨学費、入学試験にかかる経費もこれの中に含まれます。

施設関係支出とは、土地、建物、構築物といった固定資産取得のための支出です。

その他の支出は前年度中の活動に係る支出のうち、当該年度に支払われた前期末未払支払の他、前払支払支出などがあります。

【資金収支の概要】
収入の大部分を占める学生生徒等納付金は16億8,600万円。寄付金收入は学園創立90周年記念募金、大学・短大後援会、高等学校・こども園PTAからの寄付金など予算比1,000万円減収の7,300万円。補助金收入は予算比2,300万円減収の4億4,200万円となりました。一方、主な支出については人件費支出が予算比3,100万円減額の10億4,800万円、教育研究経費支出が予算比1億7,400万円減額の4億9,800万円、管理経費支出が予算2,400万円減額の1億9,200万円、資産運用支出が有価証券購入支出等により予算比6億円増額の16億円となりました。

【収入の部】

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,663	1,686	△23
手数料収入	23	20	3
寄付金収入	82	73	10
補助金収入	465	442	23
資産売却収入	1,000	700	300
付随事業・収益事業収入	37	13	25
受取利息・配当金収入	40	96	△56
雑収入	23	51	△28
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	294	209	85
その他の収入	130	114	17
資金収入調整勘定	△263	△339	76
前年度繰越支払資金	3,045	3,045	△
収入の部合計	6,539	6,108	431

(単位:百万円)

学生生徒等納付金収入は、入学金を含む授業料などの学費収入です。

雑収入とは、学校法人の事業活動収入のうち、学生生徒等納付金から受取利息・配当金収入までのいずれにも該当しない事業活動収入をいいます。

その他の収入は前期末未収入金収入、貸付金回収収入、引当特定資産からの繰り戻し収入などです。

【支出の部】

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,079	1,048	31
教育研究経費支出	672	498	174
管理経費支出	216	192	24
借入金利息支出	0	0	0
借入金返済支出	0	0	0
施設関係支出	85	108	△22
設備関係支出	40	18	21
資産運用支出	1,000	1,600	△600
その他の支出	142	147	△5
(予備費)	0	0	0
資金支出調整勘定	△94	△104	10
翌年度繰越支払資金	3,400	2,602	798
支出の部合計	6,539	6,108	431

(単位:百万円)

管理経費支出は、教育研究活動に直接要する経費で、一般経費のほかに役員会、法人業務、教職員の福利厚生費、学生募集経費、食堂の経費などが加わります。

設備関係支出とは、教育研究用の機器備品、管理用機器備品、図書、車両といった固定資産取得のための支出です。

資金支出調整勘定とは、当該年度中に支払うべき支出であるが、支払いが次年度になる期末未払金や、前年度に支払いを怠て未満せた当該年度の支出を減算することにより支出額を調整するものです。

※表示された数値以下の端数は個々に四捨五入してあるので、合計欄の数値と一致しない場合があります。

事業活動収支計算書

経常的な収支のバランスと臨時の収支のバランスを区分して表示します。

従前の「消費収支計算書」の名称が平成27年度の改正で「事業活動収支計算書」に変更されました。

(単位:百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,663	1,686	△23
手数料	23	20	3
寄付金	83	72	11
経常費等補助金	465	441	24
付随事業収入	37	13	25
雑収入	23	51	△28
教育活動収入計	2,294	2,282	12
人件費	1,067	1,050	17
教員人件費	743	728	15
職員人件費	316	290	26
その他人件費	9	32	△24
教育研究経費	955	836	119
管理経費	284	269	15
徴収不能額等	1	1	△0
教育活動支出計	2,307	2,156	151
教育活動収支差額	△13	125	△138
受取利息・配当金	39	91	△52
その他教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	39	91	△52
借入金等利息	0	0	0
その他教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	39	91	△52
経常収支差額	27	217	△190

学生生徒等納付金とは、授業料、入学金、教養運営費、実験室運営費等の学費収入です。

手数料は、入学検定料、試験料、証明手数料とセンターアクティビティの実施手数料が主なものであります。

寄付金には、資金収入の寄付金だけではなく、現物寄付が含まれます。

経常費等補助金は、国庫補助金、地方公共団体補助金が中心です。

人件費は、教員人件費、職員人件費、退職慰労金等が含まれます。

教育研究絏費は、教育研究活動に必要な消耗品、旅費交通費、光熱水費などのすべての経費です。

管理絏費は、教育活動に直接必要となる消耗品等の絏費です。

教育活動収支差額は、教育研究活動に必要な人件費、教育研究絏費及び管理絏費が教育研究活動によって得られた事業活動収入によって回収されていることを示すものです。

教育活動外収支差額は各種特定資産の運用による生じる特定資産運用収入や、これ以外の預金、貯金などで財務活動の収支バランスを示します。

特別収支差額は、特別活動による収支のこと。具体的には、特別収入としては、資産売却差額、施設設備寄付金、現物寄付、施設設備補助金、過年修繕差額などが該当します。また、特別支出としては、資産処分差額、災害損失、過年修繕差額などが該当し、臨時的な収支バランスを示します。

基金とは、学園法人がぞの諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に維持するために事業活動収入から組み入れられるもので、①取得した固定資産の償却額、②計画的に削除する固定資産の取得額、③固定資産の保全として保有し、その運用結果をもつて事業活動に資金を供給するための預金等の額、④学校法人が円滑に運営活動をめぐらせるために、通常的に保持すべき額の4つがあります。固定資産の取得や除却、計画的変更などによりこの基本金の額に変更が生じた場合にそれが組入額として示しています。

貸借対照表

期末(年度末)における資産・負債・基本金および収支差額を把握し、財務状態の健全性を表すものです。

【資産の部】

科 目	令和5年度末	令和4年度末	増 減
固定資産	25,003	24,409	593
有形固定資産	18,915	19,213	△298
土地	7,679	7,680	△1
建物	9,628	9,919	△291
構築物	544	605	△61
教育研究用機器備品	128	149	△21
管理用機器備品	19	24	△5
図書	746	742	4
車両	12	17	△5
建設仮勘定	158	77	81
特定資産	1,755	1,755	0
その他の固定資産	4,333	3,441	892
流動資産	2,700	3,152	△452
徴収不能引当金	△1	△1	0
資産の部合計	27,702	27,561	141

(単位:百万円)

【負債の部】

科 目	令和5年度末	令和4年度末	増 減
固定負債	507	510	△3
流動負債	326	390	△63
負債の部合計	834	900	△66

(単位:百万円)

【純資産の部】

科 目	令和5年度末	令和4年度末	増 減
基本金	27,606	27,521	85
第1号基本金	27,403	27,318	85
第3号基本金	30	30	0
第4号基本金	172	172	0
繰越収支差額	△737	△860	123
翌年度繰越収支差額	△737	△860	123
純資産の部合計	26,869	26,661	208

(単位:百万円)

科 目	令和5年度末	令和4年度末	増 減
負債及び純資産の部合計	27,702	27,561	141

※表示された数値以下の端数は個々に四捨五入してあるので、合計欄の数値と一致しない場合があります。

【貸借対照表の概要】

(資産について) 有形固定資産の建物の減少の主因は熱源設置更新に伴う設備の除却等によるものです。その他の固定資産の増加は有価証券の増加によるものです。

(負債について) 流動負債の減少は前受金の減少を中心としたものです。(純資産について) 本年度は前年度対比で資産が1億4,800万円増加し、負債が6,600万円減少したことにより純資産は268億6,900万円となりました。



創立90周年記念募金 募集要項

名 称／作陽學園創立90周年記念事業募金

募金目標金額／5,000万円

募金の種類／個人一口 5,000円(できるだけ複数口でご協力をいただければ幸いです)

法人一口 10,000円(できるだけ複数口での協力をいただければ幸いです)

※個人・法人とも上記金額にかかわらず、有り難くお受けいたします。

募 集 期 間 /2020年4月1日～2026年3月31日

募金の用途 ①新設学部サポート募金(対象:士官)

- ①新設学部サポート募金(対象:大学)
 - ②教育環境サポート募金(対象:大学、短期大学、高校)
 - ③キャンパス緑化募金
 - ④学生課外活動・部活動サポート募金(対象:大学、短期大学、高校)
 - ⑤特定の学部・学科等サポート募金(対象:大学、短期大学、高校、こども園)
 - ⑥松田藤子記念奨学金募金(対象:大学、短期大学、高校)
 - ⑦その他

①新設学部サポート基金(対象:大学)

くらしき作陽大学では、音楽、食文化、子ども教育の3学部に加え「健康スポーツ教育学部」(2025年4月設置)を新設いたします。本学部は建学の精神に基づく人間教育のもとに、教育や健康に関する専門的知識を身につけた職業人を育成するとともに、地域の重要な教育研究拠点として社会に貢献することを目指します。12号館(アリーナ)の新設など、充実した学びを提供できる教育施設にも着工しています。本事業推進にご理解いただき、サポート賜りますようお願い申し上げます。

②教育環境サポート募金(対象:大学、短期大学、高校)

くらしき作陽大学、作陽短期大学、作陽学園高等学校の教育研究に係る環境、空調、機器備品更新などの施設設備を更に充実させ、学生・生徒たちの学びをバックアップします。学生・生徒にとってより良い教育研究環境を提供するために活用させていただきます。

③キャンパス緑化募金

キャンパスの緑化・環境保全に活用させていただきます。

④学生課外活動・部活動サポート募金(対象:大学、短期大学、高校)

大学・短大の学生会、サークル活動、高校の部活動支援など各団体を直接支援できる制度です。

振込取扱票の通信欄にて指定の団体名をご記入ください。

⑤特定の学部・学科等サポート基金(対象:大学、短期大学、高校、こども園)

作陽学園は、くらしき作陽大学(音楽学部、食文化学部、子ども教育学部)、作陽短期大学(音楽学科)、作陽学園高等学校、くらしき作陽大学附属認定こども園と多岐にわたる領域で構成されており、それぞれにおいて学は「念願は人格を決定す 繼続は力なり」のもと各学部、学科等が特色ある良質な教育を行っています。ご指定いただいた学部・学科等の教育・研究の充実に努めさせていただきます。

ご指定いただいた学部・学科等は、返却用封筒の通信欄にて記入ください。

【学部・学科等】音楽学部 食文化学部 子ども教育学部 短大音楽学科 作陽高等学校 附属認定こども園

⑥松田藤子記念奨学金募金(対象:大学・短期大学・高校)

本学園創立者である故松田藤子学園長の遺志に基づき、卒業年度において学費支持者の死亡、自然災害等により学費納入が著しく困難となった学生に対して給付される奨学金(大学、短期大学)、学業・人物ともに優秀で、他の模範となる生徒と認められた者に対して支給(返還なし)される奨学金(高校)をサポートする基金です。

⑦その他

特に使途での指定のない寄附に関しては、本学園のさらなる発展のため諸事業に係る経費に充当させていただきます。

学園報に関するお問い合わせは
作陽学園事務局 学園報担当(企画広報)

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515
tel 086-523-0822 / fax 086-436-0283
E-mail: sakuya_kikaku@ksu.ac.jp